

台風19号における摺上川ダムの効果について(速報)

(過去最大の流入量を記録)

(1)洪水の概要

台風19号に伴う降雨により、摺上川ダム流域では令和元年10月11日16時00分より雨が降り出し、10月13日11時00分までの累加雨量は215mmに達しました。

この影響により摺上川ダムへの流入量は10月13日0時50分にピークに達し、洪水量(100m³/s)を超える523m³/sの流入量(過去最大)を記録しました。

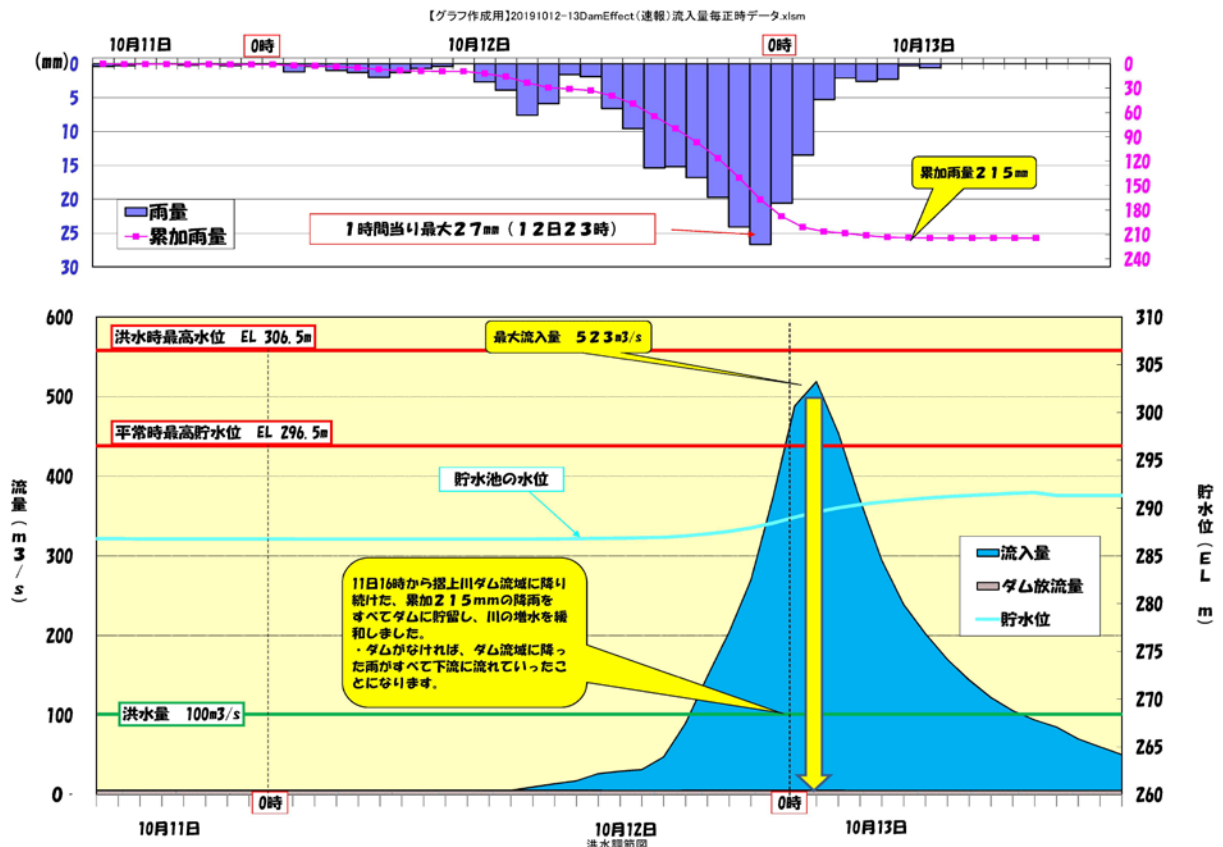
(2)摺上川ダムの効果

今回の洪水で流入量は最大523m³/sに達し、下流への放流量を4m³/sに抑え、「519m³/s」の洪水をダムで調節(貯留)することが出来ました。

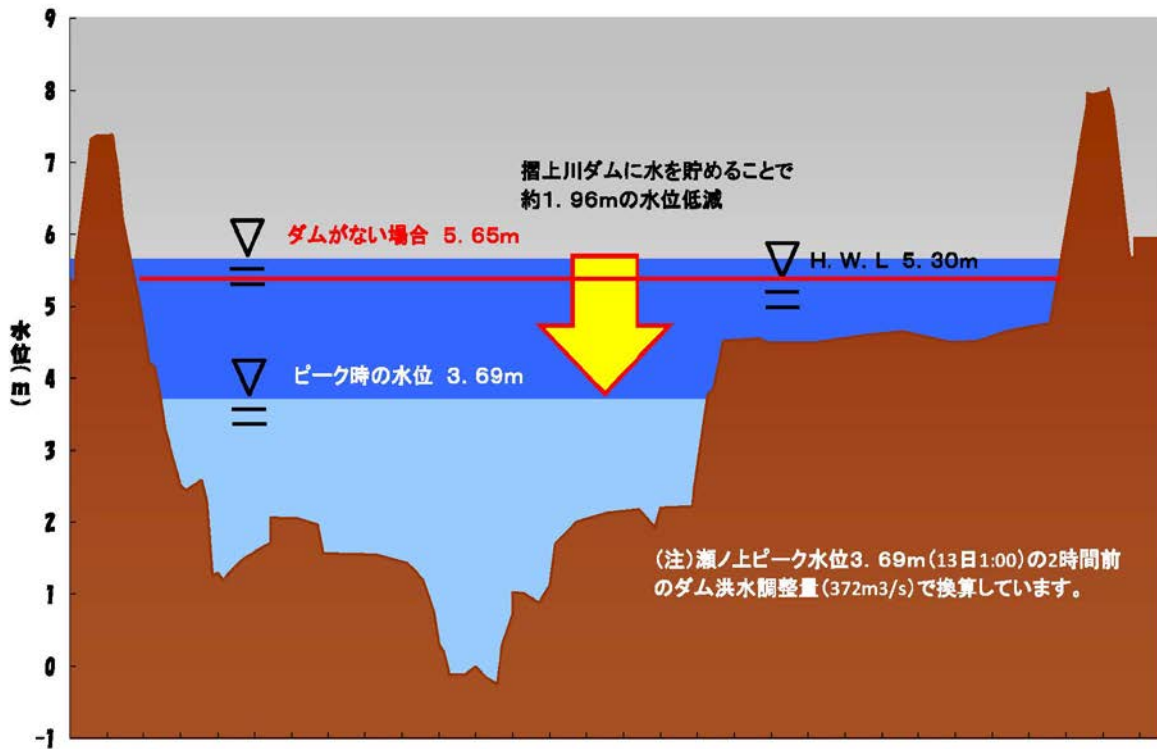
貯留した水の量は、14,351千m³(東京ドーム11.5個分)にもなりました。

この結果、摺上川ダム下流部の瀬ノ上地点での河川水位は、ダムが無かった場合に比べ約1.96m低く抑えることが出来たと考えられます。

防災操作のグラフはコチラ



瀬ノ上地点ダム効果グラフ



値は速報値であり、精査により今後見直しもあり得ます。

< 発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ >

問い合わせ先	
国土交通省 東北地方整備局 摺上川ダム管理所	
所長	平山 孝信
管理係長	高橋 裕一
TEL:024-596-1275(代)	
FAX:024-596-1274	